

令和5年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
217	川崎市立平間中学校	辻 敏明

学校教育目標	今年度の重点目標
自ら学び、思いやりの心と正しい判断力をもった人間性豊かな生徒を育てる (1) 真剣に学習に向かい、自ら考えることができる (2) 心身の健康を図り、高い品位を保つ (3) 自主自律の気風を育て、個性を伸ばす (4) 互いに協調して、共同の精神を果たす	○基礎・基本の定着と、家庭学習の充実 ○自ら学ぶ意欲・態度の育成 ○基本的生活習慣の確立 ○人権尊重教育の推進及び生徒活動の充実 ○安全・安心な学校 ○学校、家庭、地域との連携 ○学校評価と情報発信の充実

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の確立 「わかる」授業の実践 言語活動の充実 興味・関心に応じた学習課題の設定 家庭学習の定着と学習の連続性(宿題・課題) 小学校からの連続性を意識した学習 校内授業研修会の計画的な実施 特色ある教育課程づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 校内授業研修会等を通して、学習指導要領の全面実施にともない、指導法や評価について、共通認識を高め、生徒が意欲的に学習に取り組めるよう努めた。 少人数授業等により、生徒一人ひとりのニーズに対応するなどのきめ細かな指導に努めた。 校内授業研修会を計画的に実施し、教師相互の授業力の向上に努めた。 言語活動の充実等の取り組みにより、授業や学級活動、総合的な学習の時間、生徒活動などで、活発な話し合いや工夫した発表ができるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科・領域で校内授業研修を充実させ、生徒が意欲的に学習に取り組み、基礎・基本の定着や自ら課題を見つけ解決できる力を身に付けられるようにしたい。 評価方法や評価内容などの研修を進め、信頼される評価を目指したい。 学習における小学校から中学校への連続性を考え、学習の定着を図るため、小中の情報交換を更に進めたい。 家庭学習の充実を進めたい。 言語活動の充実に努めたい。
2 生活指導	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の確立 安全教育の実践 いじめや暴力を許さない環境づくりと早期発見、早期指導 生徒に寄り添った教育相談活動 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会本部や生活委員、保護者・地域の方々の挨拶運動のおかげで、挨拶をする生徒が増えた。 落ち着いた学校生活を送る生徒が多く、教職員が生徒に寄り添った指導の成果であると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣の確立を目指し、朝のあいさつ運動は今後も継続したい。 生徒に寄り添った指導を更に進めたい。 家庭との連携を密にし、学校と家庭の協力体制を継続していきたい。
3 特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の主体性を生かした生徒会・委員会活動の推進 学校行事への積極的な参加態度の育成 部活動の充実と部活動を通したよりよい人間関係の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や委員会活動を計画的に行った。 生徒会役員等のリーダーが学校全体のことを考え、さまざまな取組を行うことができた。 学校行事において、生徒が主体的に活動する場面を多く設定することができた。 学校行事において、高まった能力をその後の活動に生かす部分が薄く感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画による、見通しをもった生徒会活動を進めていきたい。 部活動及び委員会活動では、集団に貢献しようとする姿勢を育てたい。 「生徒による、生徒のための生徒会活動」の推進していきたい。 全体的に見通しをもった実践をしていきたい。
4 心の教育	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実 人権尊重教育を推進し、いじめの未然防止といじめや暴力を許さない環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実に努めた。 様々な場面を通して、人権意識を育てることに努めた。今後も教育活動全般で、人権を意識した指導に取り組んでいきたい 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーによる相談活動の充実と、特別支援体制をさらに充実させたい。 教育サポーターの効果的な活用を進めたい。

5	健康安全教育	<ul style="list-style-type: none"> 健康で活力ある生活習慣の確立 運動に親しむ態度やマナーを身に付ける部活動の充実 安全教育の実践(防災・避難訓練) 清掃活動と環境美化活動の推進 食育教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生を中心に防災教育に取り組み、防災に関する意識を高めるとともに、状況に応じた適切な行動がとれるようになった。また、避難訓練においては、生徒の安全をどのように確保するのか、教職員の実践的な取り組みができた。 給食指導を含め、食育教育の推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別な教科「道徳」の研修を進めたい。 教育活動全般で、人権尊重教育の更なる推進を進めたい。
6	開かれた 学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> 授業・行事の積極的な公開 学校、家庭、地域との連携を図る 地域の教育力を生かす生徒活動の充実 学校HP・学校便り・学年便り等の定期的発行 学校教育推進会議の活性化 学校評価を次年度の学校運営に生かす 夏季パトロールへの協力 PTA・地域・生徒による挨拶運動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事や地区懇談会、バザー、ふれあい教室など地域と連携した取り組みが中止なり、連携することができなかつたため、学校だよりや学年だよりを発行し、保護者へ配布するとともに、掲示板を利用して情報を公開し、地域や保護者に積極的に情報を伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の地域行事への参加や、ボランティア活動などを定期的に行ないたい。 学校だより及び学級だよりを含めた情報発信を、今後も継続していきたい。 学校HPの充実を目指したい。
7	小中連携	<ul style="list-style-type: none"> 小学校児童や保護者の授業参観、体験入学の充実 小中、中高の連携・交流の推進 小中連携事業を通して、教職員の交流を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 月に1回、管理職が学区内小学校との情報交換を実施している。 コロナ禍の影響で具体的な交流は実施できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中の学習の連続性や生徒の様子についての情報交換を更に充実させたい。 高校での授業見学や生徒による授業体験等の実施により、中高の連携を進めたい。
8				

学校関係者の評価		学校運営のまとめ	
<p>・今年度も新型コロナウイルス感染症の蔓延により、多少学校教育活動が制限される状況であったものの、学校行行事については、実施方法を工夫しほぼ実施することができた。また、感染により自宅待機している生徒の学習保障のためオンライン授業を積極的に実施することで、GIGAスクール構想にもスムーズに取り組むことができた。</p> <p>・先生が生徒に寄り添った指導に取り組み、良好な信頼関係を築き、安定した学校生活を送っていることができた。</p>		<p>可能な範囲で生徒が主体となる場面を確保し、充実感を持って取り組むことができた。学校行事や部活動で多くの生徒の活躍が見られ、生徒の気持ちに寄り添った対応の成果であると考えている。今後も生徒主体の活動を継続、発展させていきたい。学校生活アンケートの結果からは、依然、学習面での課題が残ることから、今後も「わかる授業」の強化を図っていきたい。学校評価としては、概ね良好であると感じているが、それれに満足することなくさらなる高みに向けて取り組んでいきたい。</p> <p>次年度へ向けては、生徒会活動や委員会活動を活性化し、学校行事などを通して生徒の意欲を更に高め、リーダーを中心とした取り組みを推進し、生徒を主体とした学校づくりを進めるとともに、生徒の学力の向上に取り組みたい</p>	